



オートキャンプフェスティバルinるもい実行委員会  
実行委員長 宮下 泰裕さん

留萌地域の自然や恵まれた食をPRし、訪れる愛好者に楽しんでもらおうと、ゴールデンビーチるもいを会場に平成22年から始まり、今年で4回目を迎える「オートキャンプフェスティバルinるもい」。6月29日(土)、30日(日)の開催に合わせ、道内外からはすでに多数の参加申し込みがあり、50名余りのスタッフは準備に追われています。実行委員長の宮下さんは「一般の方が気軽に参加できるフェスティバル

は、全道的に見てもここだけだと断言できます。留萌の美しい風景だけでなく、スタッフのきめ細かな心遣いや豊かな食のもてなしが参加者を魅了するのだと思います。リピーター率は5割、そのうち初回からの参加者は3割を占めるなど、高い人気を得ています」と話しており、留萌観光の新たなイベントとして定着しつつあります。フェスティバルは、「るもい浜焼き」など留萌の食だけでなく、「オールバンカーパットゴルフ」や「ママチャリ一本橋渡り」などのゲームのほか、今年は新たに「ドラム缶風呂」も用意されます。宮下さんは「市民の皆さんも参加できるイベントもありますので、ぜひ気軽に遊びに来て、オートキャンプの魅力を感じてください」と呼びかけています。



▲自然の恵みたっぷりの留萌の食に舌鼓



▲解散式はたくさんの参加者の笑顔で幕を閉じました(写真は24年度)

## 自然と食でおもてなし 道内外の愛好者が交流

6月29日(土)、30日(日)

オートキャンプフェスティバルinるもい



うまいよ！るもい市実行委員会  
実行委員長 高田 英雄さん

## うまいよ！るもい市 『来て、見て、食べて、楽しい』 旬の味覚がここにある！

1回目は6月30日(日)

留萌の旬の味覚を一堂にそろえたイベント「うまいよ！るもい市」。

昭和49年に始まった「水産まつり」を一新し、平成17年から始まり今年で9年目を迎えます。

市内外の飲食店や商店、各団体が協力し、留萌市地方卸売市場を会場に開かれています。

今年も6月、7月、10月、12月の4回開催し、人気のウニやホタテの袋詰め放題、新鮮な魚介類など盛り合わせた「るもい浜焼き」をその場で味わえる炭火焼きコーナーも用意されます。



▲恒例となったウニの袋詰め放題にみなさん夢中です



▲「るもい浜焼き」をその場で味わえる炭火焼きコーナー

2代目実行委員長を今年から務める高田さんは「今まで以上に、市民の皆さんに楽しんでもらえるよう取り組んでいきます。これまでもいろいろなアドバイスをいただきましたが、一歩ずつ確実に改善していこうと、仲間たちと話し合っています」。さらに「マンネリから脱却するための試行錯誤の労を惜しまず、『来て、見て、食べて、楽しい』をキーワードに、初心を忘れずに取り組みたいと思います」と話しており、熱い想いが伝わってきます。

3月に、高規格幹線道路深川・留萌自動車道の留萌大和田ICが開通し、来場者の増加が見込まれることから、実行委員会では近隣の市町村へのPRを積極的に行い、交流人口の拡大に努めています。

1回目は6月30日(日)午前10時から開かれます。高田さんは、「ぜひ、家族や友人と会場に足を運んでください」と話しています。

☎ NPO 法人留萌観光協会 ☎ 43-6817